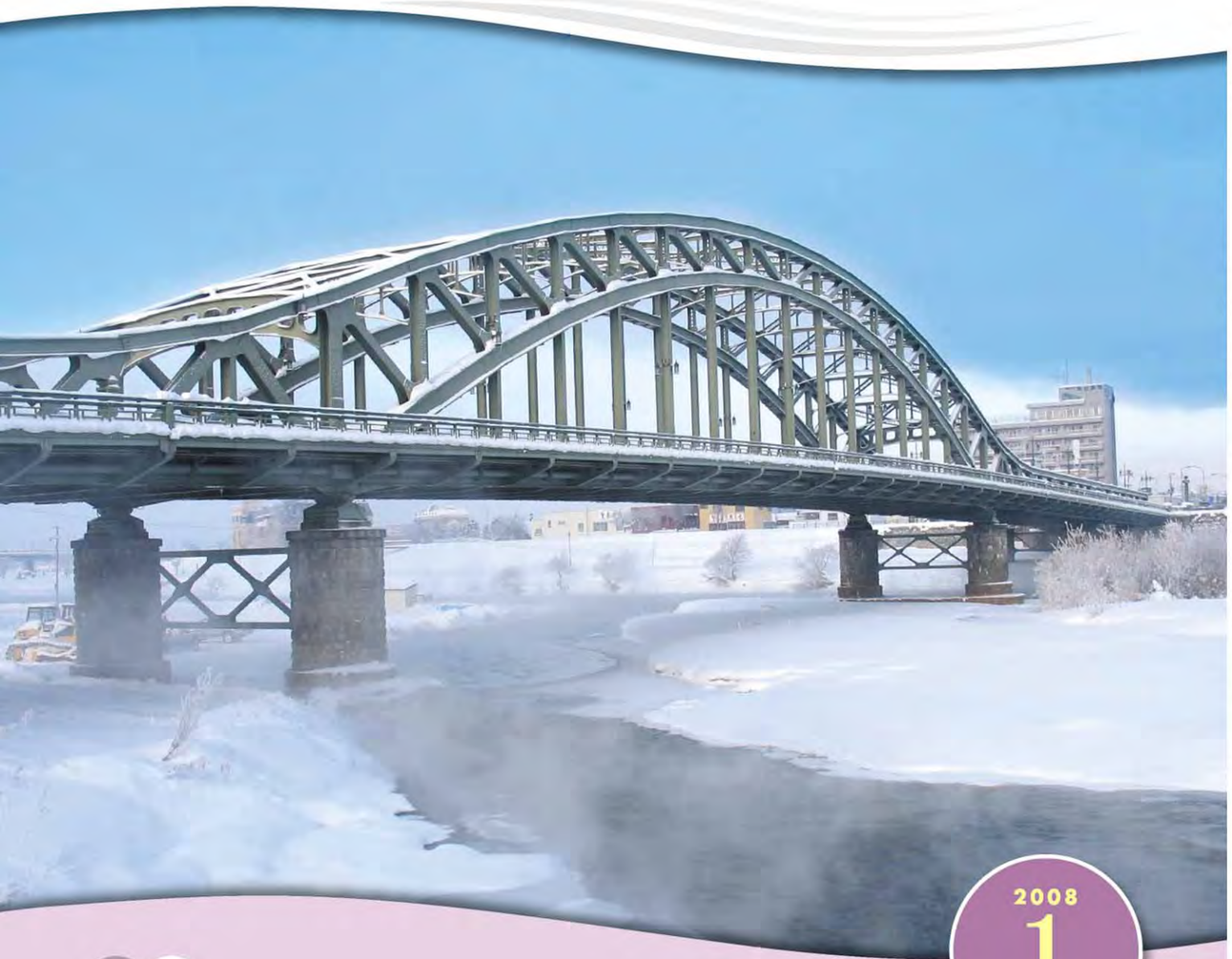
JA ASAHIKAWA

あさひかわ



2008
1
vol.36

特集

新春を迎えて

明日を担う
●年末年始の暴飲暴食をリセットしよう
誰でもカンタン呼吸筋ストレッチ
第2回江丹別そばセミナー開催

頌春

http://www.ja-asahikawa.or.jp

あさひかわ JA ASAHIKAWA
VOL.36
平成20年1月1日発行
■編集発行あさひかわ農業協同組合 管理部総務課
■印刷(株)エー・アイピー農文協

1名様からご参加いただけます
※1名1室利用の設定有り但し、部屋数に限りがございます

新千歳・函館・旭川・帯広・釧路・女満別空港発着

第12回TOUR杯 道内各地発着!!

パークゴルフ大会 in 四国 4日間

のんびり 充実 四国滞在

新千歳・函館空港発着 旅行代金 4名1室利用 97,000円

第1班 2月25日(月)~2月28日(木)
第2班 3月3日(月)~3月6日(木)

お申し込み・お問い合せ
あさひかわ旅行センター ☎31-3188

全国酒類コンクールで「あさひかわ」が第2位を受賞しました。

純米大吟醸 国士無双 あさひかわ

JAあさひかわ産の酒造好適米「吟風」で仕込んだ純米大吟醸酒。香り高い味わいとコクが味わえる、地元旭川産のお酒です。

おかげさまで大好評!!

飲食店では、右記の各店で取扱っております。
・旭川市4条6丁目 板前料理 国部
・旭川市5条7丁目右8号仲 味彩 善
・旭川市東光1条2丁目 太鼓屋
・旭川市3条6丁目左10 いころ亭

JA ASAHIKAWA あさひかわ
発行所/ あさひかわ農業協同組合
編　集/ 管理部総務課
住　所/ 旭川市豊岡4条1丁目274番地の2
電　話/ 0166-31-0111　FAX/ 0166-31-1555
E-mail/ webmaster@ja-asahikawa.or.jp

新春を迎えて

代表理事組合長　**山本　隆一**

明けましておめでとうございます。今年もまた新しい年の春を皆様とともにお迎えできますことを心からお慶び申し上げます。

昨年は、春先の天候が低温、日照不足のまま推移し、そのため農作業の進捗や各作物の生育に遅れが見られ心配しましたが、幸いにも6月上旬から好天に恵まれました。水稲についても8月の高温などのおかげで、作況が平年を上回りましたが千粒重の軽い品種も一部には見られました。

ご承知のように当ＪＡ地域の農業は、土質や土地条件、気象条件などが異なる広範囲で営まれ、さまざまな経営形態が見られます。特に国の転作対策以降は、畑作物や野菜類との複合経営が進み、一方では水稲専業の大規模化も進展しております。こうしたなかで平成19年度から品目横断的経営安定対策が導入され、小麦と大豆の作付が担い手に集約されるという大きな変化がありました。作況の行方もさることながら、昨今の農業を取り巻く激しい環境変化の動向には、一時も目を離すことができません。

国内農業政策の大転換でいっそう厳しさが増す状況に加え、国際的にはＷＴＯ（世界貿易機構）交渉の行方が依然として不透明のままであり、かつオーストラリアとのＥＰＡ（経済連携協定）交渉も緊迫の度合いを増しています。日豪ＥＰＡ交渉が私たちの切羽つまった意向を無視して決着するようなことがあれば、大変なことであります。今年も団結して私たちの声を政府に届け続けなければなりません。それでもなお国際化が加速することは容易に予想されます。私たちは、よりいっそう、農産物の安全・安心の確保、生産性の向上、高付加価値化などに取り組んでいくことを求められております。需給調整システムに移行した米政策ひとつを取っても、販売戦略の再構築を視野に入れた「売れる米づくり」への対応が急がれます。米対策については、温湯による種子消毒の実施、全生産者とともに取り組んできた「クリーン米」生産がほぼ全量となり、販売・産地指定率も高まりました。これからも組合員皆様のご理解とご協力をいただきながら、「ＪＡあさひかわブランド」の確立に努力していきたいと思っております。

今年は、新生ＪＡあさひかわの誕生から7年目、第3次農業・農協中期3ヵ年計画の初年度になります。第3次計画は、現在、鋭意策定中でありますが、昨年12月末の組合員懇談会でもご説明させていただきましたように、「新時代に向けた地域農業のステップアップ」を基本テーマにして、内外の環境変化に対応しうる経営の安定と所得の確保、消費者に信頼され支持される農畜産物の生産と提供、営農支援機能の強化を図り、信用・共済部門では、よりいっそう「選ばれるＪＡバンクとＪＡ共済」の確立を目指し、購買部門では営農販売事業との連携を軸に、コスト削減と品質の向上に努めてまいりたいと考えております。

ＪＡの経営管理面でも更なる高度化と財務基盤の強化、組織体制の整備が求められております。今年も、組合員の皆様からいただきましたご意見、ご要望を今後の事業運営に反映させていただき、皆様の期待と信頼に応えられるよう、役職員一丸となってまい進してまいりますので、いっそうのご理解とご協力を切にお願いいたします。

最後に、組合員並びにご家族皆様方のご健勝と、本年も豊な出来秋を迎えることができますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

本年もよろしくお願いいたします。

役職員一同

新春にあたり

北海道農業協同組合中央会会長　**宮田　勇**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年の北海道農業は、春先からの天候不順で、出来秋が心配されておりましたが、その後は好天に恵まれ地域差はあるものの全体的には総じて良好に推移しました。しかし、本道の米の作況指数は98となり、さらに府県の過剰作付けに起因する米価格の下落とあいまって稲作経営は一層厳しさを増しました。また、畑作経営においては昨年度から導入された品目横断的経営安定対策では農家手取り水準が減少傾向を示し、酪農経営では飼料価格の上昇が経営コストを押し上げたほか、急激な原油価格の高騰を背景とした生産資材価格の上昇が追いうちをかけ、全道の農家経済は危機的な状況を招いております。

このため、ＪＡグループ北海道といたしましては、生産者の所得確保対策と経営安定を図るための取り組みを展開した結果、米については昨年34万トンの緊急対策と担い手対策などが打ち出され、今後の価格浮揚など効果が期待されるところであります。

また、品目横断的経営安定対策につきましては、生産現場からの様々な課題提起を踏まえ、特に小麦の緑ゲタについては、近年の生産性向上努力を反映した単価水準とするよう見直しを強く求めてきた結果、昨年12月の予算折衝にあわせ、補正予算による一定の方向が示されたところであります。

ＷＴＯ農業交渉につきましては昨年7月に提示された農業交渉議長によるモダリティ案に基づき交渉が重ねられてきましたが、依然主張に大きな隔たりがあることから交渉の推移は大幅に遅れている状況にあります。

また、日豪ＥＰＡ交渉については、昨年4月より交渉がスタートし、すでに3回の会合が開催されており予断を許さない状況にあります。

ＷＴＯ農業交渉、日豪ＥＰＡ交渉如何によっては、本道農業に壊滅的な打撃を与えることから、ＪＡグループ北海道といたしましては、今後とも重要品目の関税撤廃の例外化の確保にむけて引き続き経済・商工・消費者団体など関係団体との連携を強化し、街頭宣伝行動など粘り強い運動を継続してまいる所存であります。

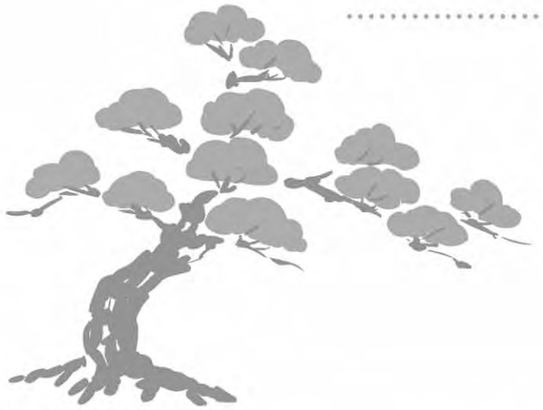
次にＪＡの経営問題につきましては、規制改革会議等においてはＪＡ問題が引き続き大きなテーマとされており、ＪＡの自己責任に基づく経営の健全化を図り、ＪＡ合併を中心に強靱な経営基盤を確立することが重要であり、「第25回ＪＡ北海道大会」で決議した協同活動の実践に積極的に取り組んでまいります。

これまでの社会はひたすら物質的豊かさを追い求め、その結果、経済効率、企業優先の社会となり資源や環境の破壊をもたらしてきました。しかし環境や資源、安全などが重視されるようになり農業、ＪＡに対する期待が高まっています。

時代は、「競争」から「共生」の社会へと確実に変化しています。いまこそ「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念を全員が意識し「共生の世紀づくり」にまい進しようではありませんか。

ＪＡグループ北海道は組合員、ＪＡ、地域住民の期待と信頼に応えるためこれからも全力で取り組むことあわせ、今後ともＪＡに対する道民の理解を深める広報活動を一層強めてまいりたいと存じます。

最後に、本年も災害がなく豊穣の出来秋を迎えることができますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新年挨拶

青年部部長　山岸　和実

明けましておめでとうございます。日頃より、当青年部活動に対しまして、組合員皆様の多大なご協力とご支援を頂き、部員72名を代表して心より感謝申し上げます。

昨年は、春先の天候不順にもかかわらず6月以降は好天に恵まれ、台風等の大きな被害もなく、農作物全般にわたり平年並みとなりました。稲作においてはカメムシによる着色粒も少なく、品質面においては良好となりましたが、品種によっては千粒重が軽く豊作とはいえない結果となりました。畑作物は6月から7月の雨不足により、全般的に平年より収量が低い実績となりました。青果物については雪解けが早く順調な出足となりましたが、天候の影響からか出荷量が減少しました。しかし、7月からは全国的な干ばつから特に葉菜類は高値で推移しました。また、年末が近づくにつれて、食品の賞味期限ラベルの改ざんや産地の偽装などが後を絶たず、生産者の私たちにとっては心を握りつぶされるような思いでした。

こうした中で、青年部は互いに交流を深め研鑽し、様々な事業に取り組んできました。一昨年に米の試食販売をさせて頂いた道東のスーパーを表敬訪問し、今後さらに「JAあさひかわ産」農産物のPRのお願いをいたしました。また、生産者としても良質農産物の生産を目指していくべきだと感じました。さらに旭川市内の大型スーパー2店舗で「JAあさひかわYES!clean米」の試食販売を行い直接消費者と交流する場を設けることができました。

今年も青年部一丸となって、めまぐるしく変化する厳しい農業情勢を乗り切るために、全力で青年部活動にあたりますので組合員皆様の暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、組合員皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

新年挨拶

女性部部長　田中　弘子

明けまして、おめでとうございます。

新しい年を皆様と共にお迎えできますことを心からお慶び申し上げます。長年ご尽力戴きました石橋部長さんの後を引き継ぎ、一年を迎えますが、各支部長様はじめ、部員の皆様のご支援とご協力の賜と心から感謝申し上げます。

あさひかわ女性部の活動としては6月の一日研修で、浜美枝さんの講演を聴き、旭川グランドホテルで食事をしながら交流会を開きました。いつも多忙なお母さん達が一同に集まり、短い時間で仲間とお話する機会はとても有意義なものであり、大切にしていきたいと思います。8月の農業まつりは、フリーマーケットとジャガイモ・南瓜を蒸かして販売しましたが、すっかり定着し完売することが出来ました。各支部の行事も大切にしながら、少しずつではありますが、「あさひかわ女性部」としての認識も高まってきました。

上川女性部の行事も役員視察研修を始め、上川収穫感謝祭、JA女性部研修大会と参加させて頂きましたが、いつも元気をもらって帰ってきます。

クッキングキャスターの星澤幸子先生のお話を聞く機会があり、改めて北海道農業のすばらしさを実感しました。「農業があるから地球の温暖化も防げる。生水が飲めるのも北海道」全国の自給率は39%と低いのですが、北海道だけでみると201%もあるといいます。そして寒暖の差の激しい北海道の野菜・果物は美味しいし、安全・安心です。

天候に左右される「農業」という職業ですが、これに負けることなく恵まれた大地で作物を作れる!という自信を持ち、あさひかわ農協を拠り所に、今年も皆様が健康で、豊穣の秋を迎えることが出来ますよう、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

JAあさひかわ稲作連絡協議会
酒米部会の設立総会を開催

11月8日（木）午後4時より永山基幹支所2階会議室において、来賓に高砂酒造・合同酒精株式会社等を招き、JAあさひかわ稲作連絡協議会酒米部会設立総会を開催し、部会長に安友進さんが選任された。

近年、酒類の消費動向について、需要の低迷が継続するなど厳しい状況にあり、特に清酒の販売環境は焼酎・スピリッツ類に押され伸び悩んでいる。

このような状況の中で、北海道酒米指定産地協議会が設立され、全道酒米生産団地が一体化して酒造好適米の安定生産・安定供給体制の構築を図っていくことになった。当JA酒米団地においても、従来の永山支所稲作協議会の酒米部会から、JAあさひかわ稲作協議会酒米部会として組織を立ち上げた。生産者一丸となり、実需者へ高品質な酒造好適米の生産と安定供給に努めることになったものである。なお、次の方々が役員に選任された。

（敬称略）

部会長　安友　進
副部会長　秦　真一
　　今野峯雄
会計　鷲尾　勲
監事　松田政晴
　　富樫征四郎

JAあさひかわ役員研修会
JA北海道信連・ホクレンを訪問

11月19日（月）から1泊2日の日程で、役員研修会を札幌で開催した。

JA北海道信連では自己査定・新BIS規制について研修し、ホクレン農業総合研究所では農薬分析等について学んだ。来年度からの第3次中期3カ年計画の策定も控えており、出席者は熱心に耳を傾けていた。

今回の役員研修会は、今後の農協運営に大いに参考となる、大変有意義な研修となった。

重点施策などの意見を集約
9会場で組合員懇談会を開催

12月13日（木）から12月20日（木）にかけて、組合員懇談会を9会場において開催した。

山本組合長のあいさつの後、信用、共済、営農販売、購買、旅行センター、内部監査室の部門別による事業の決算予測を説明した。続いて、第3次中期3カ年計画について説明があり、最後に次年度事業の要望等を伺い、今後とも全職員が一丸となり、計画達成に向け努力することを確認した。

また、平成20年度からの第3次中期3カ年計画に向けた部門別方針及び方策については、現在の地域農業・JAを取り巻く環境と現況を踏まえ、「新時代に向けた地域農業のステップアップ」を基本テーマに、経済部門・金融共済部門・管理部門・内部監査部門において重点施策に対する今後の具体的な取り組みを説明した。

最後に、組合員の方々に議事について貴重なご意見とご理解をいただいた。なお、寄せられたご意見等については、真摯に受け止めるとともに、今後の事業に反映させるべく検討していくことにしている。

安定した収入、高品質な野菜を作り、無理のない経営を目指す。

旭川中央地区

湯浅　誠さん

一走インタビュー

1 生年月日は?	…昭和57年11月21日
2 家族構成は?	…父、母、妹、祖母
3 趣味は何ですか?	…ボウリング、絵
4 農業開始時期はいつですか?	…平成11年3月から
5 現在の農業経営スタイルは?	…水稲、野菜
6 目標（理想）の経営スタイルは?	…今までの設備を使用しながら安定した収入、高品質な野菜を作り、無理のない経営をしていきたいと思います。
7 農業に対する抱負は?	…いろんなことに挑戦して、多くのことを学びたい。
8 農協に対する希望や要望は?	…農業指導や研修などを充実してほしい。
9 理想の女性像は?	…明るくて、元気な人。

低コストで高品質な農産物をつくり、安全な良品を提供していきたい。

旭正地区

荒川　十さん

一走インタビュー

1 生年月日は?	…昭和60年5月21日
2 家族構成は?	…父、母、兄、姉、祖母
3 趣味は何ですか?	… ソフトボール
4 農業開始時期はいつですか?	…平成16年4月から
5 現在の農業経営スタイルは?	…水稲、畑作
6 目標（理想）の経営スタイルは?	…規模拡大と品質向上が目標です。
7 農業に対する抱負は?	…低コストで高品質なものを作り、安全な良品を提供していきたい。
8 農協に対する希望や要望は?	…資材などの価格を安くしてほしい。
9 理想の女性像は?	…一緒にいて落ちつく人。

新春特別企画

年末年始の暴飲暴食をリセットしよう

誰でもカンタン呼吸筋ストレッチ

皆様、明けましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしでしょうか？この時期は、ついつい暴飲暴食してしまうものですよね？そんなあなたに朗報です。今回は、食べ過ぎ・飲み過ぎなどで出てきてしまったお腹を引き締め、緩んだ心肺機能をアップさせてスタミナをつける呼吸筋のストレッチ運動を紹介します。自宅で誰でもカンタンにできるので、ぜひチャレンジしてみましょう！

その1：腹筋運動（クランチ）

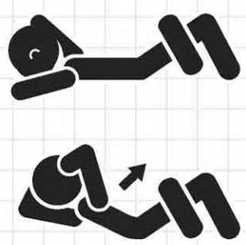
① まず仰向けになり両膝を立てます（これで運動時の腰痛を防止します）。
両手は軽くお腹に乗せましょう。

② 次にお腹を覗くように頭部をゆっくり上げていき、5秒間保持します。

③ 下ろす時もゆっくりと下ろすように気を付けて下さい。

※頭部を上げる時は息を吐きながら、下ろす時は吸いながら行って下さい。
※回数は5秒間保持を10回1セットとして、1日に2～3セットを目標に！

その2：ツイストクランチ



① 姿勢は上記のクランチの姿勢から、片足を反対側の太ももに乗せます。
両手は頭の後ろで組みます。

② その姿勢から、組んだ足と対角の肘を膝と近づけるように体を捻ります
（例：左肘と右膝）。

※ 肘と膝はムリヤリつけなくてもOKです。
※ 呼吸の方法・回数は上記のクランチと同じです。

**効果は継続しないと現れてきません。
できる範囲から行って、
ポッコリお腹をペッコリお腹に
戻していきましょう!!**

文責；JA北海道厚生連旭川厚生病院　理学療法技術部門　小川基

▲吉田先生のしめ飾りの指導に参加者は真剣そのもの

旭正

手作りに想いを込め新たな年の準備を

旭正支所女性部が「しめ飾り」講習会を開催

12月6日（木）、旭正支所女性部は、「しめ飾り」講習会を開催した。

講習会では、吉田勇吉先生の指導のもと、玄関用や車両用、リースなどを作った。

リースは、稲わら一束で簡単に作れるもので、購入するよりも安いということから人気があるようだった。

年々、玄関や車に「しめ飾り」を飾る家庭が減る中で、今回の手作りは大変意味のあるものとなった。「古い年の災いをしめだし、新しい災いが家の中に入らぬように…」などと唱えながら、参加者は黙々と集中して作り、年の神を迎え入れるための準備をする一日となった。

「来年もまたやりたい」

永山支所女性部がそば打ち講習会を開催

永山

▼五十嵐考査役の指導のもと、和気あいあいとそば打ち

12月11日（火）、永山支所女性部が、そば打ち講習会を開催した。

山田部長をはじめ、参加者10名と多くの部員が集まり、五十嵐考査役の指導のもと、5人ずつの2工程で蕎麦粉を混ぜるところからスタートし、切る作業まで順調に終えることができた。参加した部員は楽しみながら作業に取り組んでいた。

そば打ち終了後は、自ら打ったそばを江丹別そば処「穂の香」で試食し、部員からは「来年も是非、そば打ちを行いたい」と要望も出され、参加者はみんな満足した様子であった。

名湯につかって深まる秋を満喫

神楽年金同友会が今年度最後の温泉湯治

神楽年金同友会（会長・森山茂、会員267名）は、11月6日（火）から9日（金）までの3泊4日の日程で、85名の参加者のもと、層雲峡観光ホテルを会場に今年度最後の温泉湯治を行った。

11月の層雲峡は秋も深まり、ホテルの窓からは彩り鮮やかに染まった木々の葉が顔をのぞかせ、近くに見える山々はうっすら雪化粧するという絶景の眺めであった。

▲美味しい食事と楽しい宴会で会場は大盛り上がり

層雲峡観光ホテルは、温泉はもちろん、食事のバイキングも種類豊富でたいへん美味しいと評判のホテルで、参加者は大満足の様子であった。また、日中は娯楽施設や温泉で思い思いに楽しみ、最終日の夜は恒例の大宴会が会員の名司会のもと行われ、時間をオーバーする程の大盛況ぶりであった。

日頃の疲れを癒した快適な4日間はあっという間に過ぎ、参加者全員、体調を崩すことなく無事帰路に着いた。

中央

紅葉の京都満喫4日間の旅

旭川中央地区外郭6団体が初の合同道外旅行実施

旭川中央地区外郭6団体合同の道外旅行が11月26日（月）から3泊4日の旅程で実施された。

初日は、新千歳空港を発ち、午後5時頃に京都市内のホテルにチェックイン。夕食後はそれぞれが思い思いの夜を過ごした。

2日目は真っ先に清水寺へ。色鮮やかな紅葉を満喫し、古代友禅苑で扇子作り体験。昼食後、金閣寺、竜安寺と続けて見学し、夕食後には京都タワーや祇園などの散策を楽しんだ。

3日目はトロッコ列車と保津川下りの船を乗り継ぎ、嵐山へ。渡月橋近くで昼食後、近辺を自由に散策し、一同は琵琶湖を一望できる雄琴温泉のホテルへ向かった。ここは、各部屋に露天風呂を備えるとても高級なホテルとしても有名。

最終日には、比叡山延暦寺で有り難い講話を拝聴し、精進料理を食した後、帰旭した。

今回の古都京都の旅は世界遺産巡りの旅でもあり、17カ所の内の4つの仏閣を拝観し、ピークの紅葉も満喫できた。初対面の方々も時間とともにうち解け、再会を誓っての散会となった。

▼ピークの紅葉も見られ、参加者は古都京都を満喫

層雲峡温泉で日頃の疲れ癒す
神居支所年金友の会が温泉湯治を実施

神居支所年金友の会では、11月13日（火）から16日（金）の3泊4日の日程で、会員68名の参加により温泉湯治を実施した。各地区をバス2台で巡回し、午後4時頃、目的地の層雲峡温泉「ホテル大雪」に到着、楽しみいっぱいの温泉湯治がスタートした。

ホテルでは、ゲートボール大会、輪投げ大会、カラオケ大会など予定された行事を参加者全員で行い、和気あいあいと楽しく過ごした。また、夕食の宴会では、多くのスターがカラオケや舞踊など自慢の芸を披露し、大変な盛り上がりとなった。

参加者はゆっくり温泉につかり、日頃の疲れを充分に癒して、無事帰宅した。

▲温泉で日頃の疲れを癒し、和気あいあいと楽しんだ

神居

おいしい手作り料理で部員間交流
北野支所女性部・加工部が忘年会

12月4日（火）に、北野支所の2階で〝クッキングフェスタ〟のレシピと加工部のオリジナルと合わせて全5品の豪華な料理を作った。これは、部員の手作り料理を通し、部員間交流を目的として、毎年開催されている「忘年会」である。

▼テーブルの上には所狭しと自慢の料理がズラリ

朝9時に部員22名が集まり、グループに分かれて準備と調理を開始。廊下と調理場をフルに使い、連携を取りながら主婦の手際の良さとチームワークで、予定よりも少し早い時間に料理が完成した。

料理と持ってきた自慢の逸品（漬け物）がテーブルの上に所狭しと並べられ、神田悟理事、島基幹支所長、川合営農センター長をお招きし、楽しく語り合った。

今年一年を振り返り、思い出いっぱい、お腹いっぱいの楽しい忘年会となった。

北野

第二回江丹別そば セミナー開催
今年も大好評です！

11月23日（金）、永山基幹支所2階会議室において、第2回江丹別そばセミナーが開催された。

講師は昨年に引き続き、（社）日本麺類業団体連合会会長の鵜飼良平氏をお迎えし、「江丹別そばの美味しさ」と題し、講演。受講者は100名を超え、会場が満杯状態の中、参加者は熱心に耳を傾けていた。

続いて、場所を農産物直売所「あさがお」に移し、そば打ち実演会を実施。ここで突然、〝そばがき〟の実演があり、参加者に振る舞われた。

そして、実演の際には人垣でいっぱいになり、参加者は少しでも名人の技を見ようと真剣であった。

その後、抽選で選ばれた10名にそば打ち指導も行われ、参加者は名人からの直接指導に大変な喜びようであった。

鵜飼氏による そば講演会
受講者は100人を超え、満杯の会場の中で、熱心に聞いていました。

突然の展開！ そばがき実演
突然振る舞われたそばがきに、受講者はうれしい驚き！

まさに名人芸！ そば打ち実演会
場所を「あさがお」に移し、そば打ち実演！華麗な技に受講者は釘付け！

名人直々！ そば打ち講習会
抽選で選ばれた10名になんと、鵜飼氏から直接そば打ち指導が！

直接指導に 大感激！な受講者
滅多に体験できない鵜飼氏の直接指導に、受講者は大感激！

JAあさひかわ 農産物の販売推進活動状況報告

三鷹南浦小学校訪問【10月27日】

鷹栖町の友好都市である三鷹市の南浦小学校「朝ごはん集会」が昨年に引き続き開催され、鷹栖町西永農政課長とJAより大槻営農販売課長が参加した。

当日は台風の影響で雨天となり、グランドで行う予定を変更して各教室で朝ごはん集会を行った。北野産「ほしのゆめ」を使用し、各教室に分かれて父兄・上級生の指導のもと、おにぎりを握った。それから「いただきます」の合図で、美味しそうにおにぎりをほおばっていた。また、昨年からの推進により南浦小学校の給食で北野産「ほしのゆめ」を使用する事になり、年間利用予定85俵の注文を頂いた。

新米キャンペーン実施【10月27日～28日】

旭川食糧からイオン系列店舗で、JAあさひかわ産「YESクリーン米ほしのゆめ」が販売されており、マネキン試食販売による新米キャンペーンがウエスタンパワーズ店・川端店の両店で開催された。当JA青年部役員並びに稲作連絡協議会役員による「JAあさひかわ産米」の宣伝販売も同時に実施された。販売価格は5kg1,780円と一般米より高い価格であったが、販売予定数量をほぼ完売した。

新米試食会開催【11月6日】

民主党・道民連合農政議員連盟主催による新米試食会が開催され、JAあさひかわ産YESクリーン米のPRを行った。今回の試食は、JAあさひかわ産「ほしのゆめ」JAきたそらち産「ふっくりんこ」と秋田小町の3品種で行われ、「ふっくりんこ」が新品種ということで話題性があったが、食味は当JA産「ほしのゆめ」の方が評価されたような手応えを感じた。

エフコープ訪問【11月28日】

8月7日の来訪のお礼と平成19年産米の作柄を報告し、取扱上の評価を伺った。

平成16年産米からの食味データは、安定した数値で販売数量も伸びている。特に、今年度から九州連合（熊本、大分、沖縄）の統一アイテムとなり、販売拡大するなか希望数量に満たない供給状況で供給の上積みをお願いされた。

また、打合せ後に開催された懇親会では、生協の女性理事5名と8月訪問時に対応した永山支所女性部の山田部長・和田副部長の会話が弾み、今後も産地と消費地で交流する事を確認し、有意義な訪問となった。

▲エフコープ訪問の様子

(株)三忠訪問【11月27日】

そばを巡る販売環境は、平成18年産の持ち越し在庫と平成19年産の作付面積拡大及び豊作基調から厳しい状況で、いまだ販売に結び付け出来ない「旭川産そば」の購入をお願いした。

(株)ナカトラ福岡店、(株)森光商店訪問【11月29日】

平成19年産黒大豆約1,700俵を、九州の5卸で契約して頂いている。今回は取扱の多い2社を訪問し、契約栽培のお礼と産地の取組みを紹介して、今後の利用拡大をお願いした。両社とも小袋販売をしており、裂皮が多いとお客様からクレームがくる。JAあさひかわ産の黒大豆を水浸試験すると100粒中1粒程度（3粒までOK）で良好と評価を頂いた。（ナカトラでは、JAあさひかわ産黒大豆「黒い恋人」のネーミングで販売）

▲(株)森光商店訪問の様子

釧路地方で米のPR活動 JAあさひかわ青年部が表敬訪問

10月31日（水）と11月1日（木）の2日間で、青年部役員5名と事務局2名が、釧路地方でJAあさひかわ産米のPR活動を行った。

まず、（株）妹尾商店の文苑支店で村上社長とJAあさひかわ産米の評価や販売状況について懇談した。着実に固定客が増えており、評判も上々との報告を受けた。次に、（株）こめしんでJAあさひかわ産米の出来秋を報告し、徳山社長と意見交換。今後は生産者・卸・販売と、三位一体で協力しながら厳しい状況を打破していかなければならないと語られた。

今回の活動は、販売側の意見や消費動向を確認し、今後の農業経営に役立つ事業として再認識した。

税務改正について学ぶ あさひかわ農協貸家協議会が税務研修会を開催

11月21日（水）、あさひかわ農協貸家協議会（会員192名）事務局旭川協同総業（株）では、旭川グランドホテルにおいて、38名の会員の参加により税務研修会を開催した。

松田繁会長の開会のあいさつの後、税理士藤原清美氏による「相続の事例と減価償却の変更点について」というテーマでの講演が行われた。相続に係わる具体的な事例と相続対策の原則、相続税節減対策の考え方、具体的な節税対策、遺産の分割における節税、個人の減価償却制度の改正についてそれぞれ学んだ。研修終了後は、昼食を挟んだ後、質問が相次ぎ、有意義な研修会となった。

集落営農組織について知る 農業生産組織連絡協議会が研修会及び交流会を開催

11月27日（火）、旭川市農業センターにおいて、旭川市営農改善推進協議会主催の「旭川市農業生産組織一日研修会」が開催され、JAあさひかわ農業生産組織連絡協議会の各地区組織役員ら22名が参加した。

当日は、「集落営農組織としての一年を振り返って」と題して、東旭川の「日の出生産組合」の広田氏より、集落営農の経理体制や今後の課題などを講義頂いた。

研修会終了後は、交流会を行った。「今年一年の農作業が無事終り今後の英気を養って頂きたい」と前田知会長のあいさつの後、各組織のお互いの状況報告などを交わし、有意義な時間を過ごした。

一泊視察研修会を実施 JAあさひかわ青年部が例年開催

11月7日（水）と8日（木）の2日間、部員24名の参加と事務局2名が、札幌方面において一泊視察研修会を開催した。

例年、青年部事業の一環として開催してたもので、今年はニプロ、ホクレン本所及びホクトヤンマーを視察した。初日のニプロでは、製造行程と商品を視察。ホクレン本所では、米の販売動向とこれからの課題についての研修を受けた。2日目のホクトヤンマーでは、社員の方に工場内の説明を受け、引率して頂いた。

今回の一泊研修は参加人数が少なかったが、大変有意義な研修となった。今後は、青年部全員が参加できるよう夏場の研修も視野に入れて考えていきたい。

JAあさひかわ トラベルプラン旅行記

昨年からスタートしたJAあさひかわトラベルプラン。今回は、麗しの島台湾5日間の旅と温泉湯治を企画。その時の満喫した観光の様子をご紹介します！

その1 麗しの島台湾～台北・花蓮周遊5日間の旅～

11月13日(火)～17日(土) 団長に田中理事、参加者34名

参加者一同、台湾を大満喫！

1日目

1日目。旭正支所・西神居支所をそれぞれ9時にバスで出発した。それから一路、新千歳空港へ。到着後、出国手続きを行い台湾に向う。現地時間（時差約1時間）午後9時頃、ホテルに到着。明日からの観光に備えて、今日は早めの就寝となった。

2日目

2日目は、龍山寺を皮切りに総統府前広場、中正記念堂、忠烈祠、故宮博物館を参観し、夕食後に士林夜市の見学をした。

総統府前広場では、門兵が1時間に一回交代する儀式があり、1時間の間、いっさい身動きをせずに直立不動。門兵はまばたきもしない大変厳しい訓練を受けており、係りの者が汗を拭いたりしていた。また、士林夜市には露店が立ち並び、平日にもかかわらずやっと歩けるくらいの混みよう。週末には、その倍くらいの人出になるという。しかし、警察がくると荷物をまとめ逃げていく露店もあるらしいとのことであった。

3日目

3日目は、阿美族文化舞踊ショー、太魯閣渓谷、大理石工場を見学。夕食後には、台北101展望台に登った。

阿美族文化舞踊ショーでは、見学後に民族踊りの輪に加わり、踊りを楽しんだ。体を動かした後の昼食はより美味しく、テーブルいっぱいに並んだ料理を堪能した。

また、夕食後に登った101展望台は、高さ508m、101階建てで世界一の高さを誇る。ビルの地上390mのところにある展望台からの夜景はまさに絶景であった。ちなみに、エレベーターは日本製だった。

4日目

4日目は、テレサテンのお墓へ。お墓の前で合掌した後、野柳、基隆、九分を見学。夕食後には自由参加の足裏マッサージを約半数の人が体験した。また、国民の英雄であるテレサテンのお墓のある墓地は、価格が2,000万円から4億円と超高価。納骨堂で最低でも200万円はするという。現在でも土葬が行われているとのこと。

5日目

麗しの島台湾5日間の旅も今日で終わり、帰国の時を迎えた。台北中正空港を出発した一行は、新千歳空港に到着後、西神居支所から旭正支所までそれぞれがバスで帰路へ。

今回は、皆様の日頃からの精進の甲斐もあり、天候に恵まれ、気温も25度前後と過ごしやすい5日間であった。しかし、千歳に着いての第一声が「寒い」。やっぱり北海道である。

その2 日本列島旅演歌と登別温泉湯治

12月4日(火)～6日(木)

旭川を早朝出発し、バスで厚生年金会館に直行。大月みやこ・角川博・神野美伽・鹿島ひろ美の4名の演歌歌手が出演し、会場は大盛り上がり。歌謡ショーの後は、登別温泉の登別万世閣にて夕食宴会。翌日は、各人思い思いに過ごし、大満喫の温泉湯治となった。

理事会だより

第9回理事会

平成19年10月26日(金)

●協議事項

1. 平成19年度9月末に於ける事業実績（子会社含む）及び仮決算（子会社含む）の状況について
2. 鷹栖町特別職報酬等審議会委員の推薦について
3. 監事による中間監査の回答について
4. 大口貸付について
5. 第3次農業・農協中期3ヵ年計画について
6. 役員視察研修について
7. ディスクロージャー誌（半期開示）について
8. 農業倉庫労災に係わる処理について

●報告事項

1. 内部監査の実施報告について
2. 地区内営農状況について
3. 平成16・17年産麦・大豆品質向上対策助成金の返還について
4. 営業時間の変更について
5. 農家経営対策の取組みについて
6. 有価証券の取得について
7. その他

第10回理事会

平成19年11月29日(木)

●協議事項

1. 平成19年度10月末に於ける事業実績（子会社含む）及び仮決算（子会社含む）の状況について
2. 大口貸付について
3. 平成20年度販売手数料及び各奨励施策等について
4. 第3次農業・農協中期3ヵ年計画について
5. 組合員懇談会の開催について
6. 規程類の制定、全面変更及び一部変更について
7. 年末手当の支給について

●報告事項

1. 内部監査の実施報告について
2. 地区内営農状況について
3. 農産物の仮渡及び追加精算について
4. 平成19年度「JAあさひかわ農産物」販売拡大推進報告について
5. 農業倉庫新設事業計画の一部変更について
6. JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について
7. 共済事業にかかるコンプライアンス点検の結果について
8. 年末年始の営業時間について
9. 人事異動について
10. 有価証券の取得について
11. (株)エーコープ旭川の合併について
12. その他

職員人事

採　用　*よろしくお願いします*

12/1　準職員 長井 正　　西神居支所係（定年退職者再雇用）
12/18 準職員 平野 知美　金融共済部共済課係

退　職　*お世話になりました*

11/30 推進役 長井 正　　西神居支所長

異　動

12/1　調査役 因幡 淳一郎	新辞令	
	西神居支所長	
	旧辞令	
	西神居支所調査役	

おくやみ

謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

10/4	武隈　正秋さん	北野地区5区農事組合	
10/13	三宅　章介さん	永山地区11区農事組合	
10/14	河原　榮祐さん	永山地区11区農事組合	
10/24	佐藤　良雄さん	旭正地区東部農事組合（元役員）	
10/26	中尾　一雄さん	永山地区14区農事組合	
10/27	中瀬　賢治さん	永山地区その他	
10/27	中村　栄造さん	北野地区2区農事組合	
11/4	松本　秀雄さん	神居地区豊里農事組合	
11/16	稲場　マスエさん	旭川中央地区8の3（旭川北部）農事組合	

（ともに正組合員）

概要

JA あさひかわ

（平成19年11月末実績）

組合員数	正組合員	2658名
	准組合員	24,157名
	合　計	26,815名
出資金残高		1,927百万円
販売取扱高		3,980百万円
生産資材供給高		1,476百万円
給油所供給高		1,460百万円
生活供給高		350百万円
貯金残高		95,815百万円
融資残高		19,092百万円
長期共済保有高		2,177億円